

立教開宗750年記念

「大日蓮展」開催決定



発行 日蓮聖人門下連合会 〒146-8544 東京都大田区池上1-32-15 電話 (03) 3751-7181

平成14年4月28日 第25号

日蓮聖人門下連合会が、立教開宗七百五十年記念事業として進めてきた「大日蓮展（仮称）」の開催について、その概要が左記の通り決定した。

- 一、名称 立教開宗七百五十年記念「大日蓮展」
二、会期 平成十五年一月十五日（水）二月二十三日（日）
三、会場 東京国立博物館・平成館
四、主催 東京国立博物館・日蓮聖人門下連合会・産経新聞社
五、内容 日蓮聖人門下各派関係寺院等が守り伝えてきた靈宝、文化財を中心に展示。
六、構成 第一部「日蓮聖人とその門弟」 日蓮聖人の肖像、筆跡、伝絵及び...



東京国立博物館 平成館

に卓越した本阿弥光悦など、各時代を代表する芸術家がいる。ここでは各寺に伝わる様々な文化財とともに彼らの代表作を展示する。
以上が決定した立教開宗七百五十年記念「大日蓮展」の概要であるが、前号にも報告したようにここに至るまでの道のりは決して平坦ではなかった。昨年九月に漸く東京国立博物館・日蓮聖人門下連合会・産経新聞社の三者主催が内定し、この展覧会の目的、内容、推定総額予算等について、門下各派に説明できるだけの、ある程度具体的な内容が整ったのは秋も深まる頃であった。
そして十一月の京都理事会と、それに先だつて開催された常任理事会においてそれらの説明がなされ、席上活発な質疑応答がなされた。これについては、直接三者間の交渉に当たっている事務局より、推定総額予算は二億三千万円から四千万円であること、そのうち一億六千万円については日蓮宗が拠出すること、門下各派には、各寺院、檀信徒に対する動員について応分の協力を願う入場券の枚数割り当ては行わないこと、そして東京国立博物館が作成した展覧希望リストに基づき門下各派各本山にまず出展協力の依頼状を送付し、その上で説明に伺うことなどが述べられ、常任理事会、理事会ともに異論はなく、門下連合会として本事業の推進が確認されたのである。
その後十二月から一月にかけて渡邊清明理事長名により門下各派各本山に出展協力の依頼状を送付し、事務局も要望により各所へ説明と協力依頼に伺っているが、これと並行して、東京国立博物館による出展希望リストに基づいた調査が行われている。

これらすべての所蔵寺院を対象としたものではないが、調査の過程では新たな発見もあり、担当の学芸員も驚きの声を上げている。これは過去において、日蓮聖人と法華経を中心とした展覧会がこれほどの規模で開催されたことがなく、そうした調査もあり行われていなかったことによるものと思われる。
また一月二十八日には、野崎弘東京国立博物館長より本展覧会についての書面による開催承諾があり、これより三者による立教開宗七百五十年記念「大日蓮展」プロジェクトに向けての実動が始まったのである。今後は、予定された調査終了後リストを確定し、暦が夏を迎える頃から各所蔵寺院、または所蔵者に正式な出展依頼が行われることとなる。
三月十一日には、本展覧会の正式名称をはじめとした概要の了承を得べく常任理事会を開催し、現在の進捗状況も含めて報告を行った。この中で、推定総額予算が約二億四千万円となること、経費負担と予算執行については日蓮聖人門下連合会と産経新聞社間で協約書を締結していくことが期待される。



日蓮聖人門下連合会京都理事会（平成13年11月27日、於・本山妙覚寺）

「門連だより」の継続発展のため各派のご協力を切に願います。本誌に対する感想要望など、ぜひお寄せ下さい。
「日蓮聖人門連だより」編集委員会

從地涌出
◆三年連続で自殺者が三万人を越えたとのニュース報道を耳にした。先の見えない平成不況下、失業・倒産と経済的事由で自らの命を絶つ中高年の方が多いらしいが、愕然とすべき数字である。カウセンリング機関の設置等識者からの指摘も出始めたが、これらの人々には心の拠り所がなかったのかと考える。命というものの大切さは、日蓮聖人『事理供養御書』に「いのちと申す物は一切の財の中に等一の財なり」のお示しの通りである。信仰の自由は憲法で保障されているが、各人の人生観死生観は多様であるが、人として生きていく上で最低の守るべきものがあるはずだ。戦後教育において宗教教育が否定された結果である。宗教心（この言葉は使いたくないが）の欠如である。
◆開宗七五〇年の聖年を迎え門下各派においては、慶讃事業が多く計画奉行されていることと思うが、種々の現実的問題に即応すべきことは言うまでもないことである。昨年の米同時多発テロ。イスラム原理主義者タリバンによるものとされ、米軍はアフガンを制裁。パレスチナ問題は未だくすぶり続けている。世界平和はほど遠いと言えよう。いずれの事例も根強い宗教的対立が背景に有る。しかし、無関係の市民が多数死傷し犠牲となっている。殺人を是認するような宗教は宗教ではない。許されるわけがない。だが、世界に戦火が止む日はない、悲しい現実である。◆これに対し、我ら日蓮聖人門下に連なるものは何をなすべきか。開宗七五〇年のこの時改めて、門下連合会結成の出発点に戻り日蓮聖人の理想を実現するためにも、門下各聖の活躍を祈念するものである。宗祖七百遠忌の門下連合会成し遂げた諸浄業の成果を知るものとして、この聖年を機会に再び門下各聖の心を結集していただきたい。◆『異体同心事』異体同心なれば万事を成じ、同体異心なれば諸事叶うことなし……日蓮が一願は異体同心なれば、人人すくなく候へども、大事を成じて、一定法華経ひろまりなんと覚え候へば、日蓮聖人のお言葉に肝に銘じ、「天四海皆歸妙法」の実現に向けて再スタートの開宗七五〇年としたいものである。（光）



ポスト750 宗門布教の方向性 第4回 国柱会

# 未来を見据えて、750 ネットワーク始動!

国柱会講師補 門連理事

## 石見良教

### 内における信力増進

いよいよ日蓮聖人立教開宗七五〇年の聖なる年を迎えました。

日蓮聖人は立教開宗以来正法正義を弘通するご化導に対し、他に類をみない多難迫害は、大難四か度、小難数知れずというまさに法華経勅持品の文の通りの色説でありました。ご生涯を南無妙法蓮華経の弘通で貫かれた聖人は、大慈大悲をもって、題目修行こそ成仏の直道たることをご教導下さったのです。

七五〇年という立教開宗のご聖日を記念して、本会では昭和六年より開催されている「身延登詣団」の第七十二回目を、四月二十八日の祥当日、特別の想いをもち実施いたします。身延の大祖廟に親しく拝跪して、ご報恩謝徳の至誠をこめ、「立正会慶讃式典」を挙行いたします。この佳き日を心ゆくまで慶讃し奉り、新たな護法精進のお誓いをご廟前に立てるものであります。別してこの日は大東亜戦争の敗戦後、占領下にあった日本が、昭和二十六年にサン

橋本永邦画



フランシスコにおける平和条約が昭和二十七年四月二十八日にその効力を発生して、ここに日本国は独立主権を回復いたしました。今年はこの条約が発効して文字通りの独立を回復してから五十年目にあたります。立教開宗のご聖日と日を同じくしたことは、実に吉祥なめぐり合わせであり、まさに法華経の感応の相であり、大事因縁の展開に感謝を深くするものであります。

この日、身延山大学の講堂において、特別講演として元参議院議員板垣正氏と元衆議院議員塚本三郎氏よりお話をいただきます。

### 新しい方向性への提言

日蓮聖人門下連合会では、すでに来年度初めに開催の「大日蓮展」に向けての準備が遺漏無く進んでおります。

日蓮聖人門下につらなる者としては、異体同心のもと、報恩事業の実践こそが、後世に範を示すことであると考えます。門下一丸となり、門下の統一を目指すことが、日蓮聖人の御心になつた意義ある行動なのです。

そのような考えから導き出したのが「異体同心、七五〇記念事業奉行、個人有志によるネットワーク作り」という構想です。国柱会ではこの構想を実現するために、有志が集い連絡機関を設置し、皆さんと手と手を携えて、いざれ訪れる七百五十遠忌をも視野に入れて共同事業の展開をはかりたく、種々の企画を立てました。あくまでも短

また、九月二十二日・二十三日にかけて、聖祖立教開宗のみあとを慕いして「全国会員房州霊蹟・本年秋季彼岸大法要参拝信行大会」を開催します。二十三日早朝、清澄旭が森に登詣。太平洋上に昇る日輪に向かい、声高らかに題目を唱え、信力を養います。当日は国柱会本部で督式の秋季彼岸大法要に参列し、式後開宗七五〇年を記念して「信行増進、授戒の儀」を行い信行大会の結びとするのです。

さらに「インド仏蹟巡拝・体験学習の旅」を十一月二十七日より、一般の部は九日間、青年の部は七日間の予定で開催し、霊鷲山はじめ仏蹟を巡拝します。国内各地においては、各連合局単位で会員決起大会を開催いたします



開宗750・日蓮聖人門下ネットワークのロゴマーク

期間の活動予定ですが、既成教団の組織枠にとらわれない活動を目標とします。そのために、協賛者のネットワーク作りを目的として、事業を展開いたします。

【電話03(5661)5395】  
【FAX03(5661)5396】  
本事業の目的は、これからの時代を担う日蓮聖人門下の結集を個人的なレベルではかり、広がりのあるネットワーク作りを目指し、広宣流布活動を行うことにあります。

次期正宗分として、四月二十八日の立正会当日、産経新聞全国版一面に意見広告を掲載し、日蓮聖人の立教開宗の意義を広く世に訴えます。またホームページを開設し、和文英文により世界へ情報を発信します。今や、日蓮聖人の教えを広く全世界へと発信いたします。また当日首都圏においては、意見広告を教箋として宣伝活動を行います。

三月開催の門連常任理事会でも、本ネットワークの趣旨を説明し、各派に協賛を求めました。本会単独の事業ではなく、日蓮聖人門下に呼びかけてのネットワーク作りです。ぜひ皆様におかれましても、異体同心の実をあげるべく、新しい方向性をご理解いただき、率先してネットワーク作りの一員として活躍されることを希望いたします。賛同者各位のお名前は、四月二十八日の産経新聞の意見広告で列記させていただきます。(原稿作成の関係上、締切りあり)協賛金は、一口一万円以上です。左記の口座にお振り込みいただくか、現金書留で事務局宛ご送金下さい。

立教開宗七五〇年は、一度限りの慶讃事業です。今を大切に、さらには未来を描き、一天四海皆帰妙法の実現に向けて、報恩行を遂行してまいります。

郵便振替  
0120-4138011  
日蓮聖人門下ネットワーク



www.nta.co.jp

日本旅行は、ひとりひとりの夢をカタチにするために、夢を実現するための新しい旅をお届けいたします。

お得な宿泊予約サイトは下記ホームページをご覧ください。  
<http://www.yadoplaza.com/AF90004491>



# 祝 慶讃七五〇 平成十四年壬午



## 日蓮聖人門下連合会

(平成十四年四月現在)

### 日蓮宗宗務院

管 長	藤井 日光	財務部長	中條 令紹
宗務総長	渡邊 清明	総長室長	篠原 智高
伝道局長	市川 智康	立務開宗七百五十年 慶讃会事務局長	田澤 元泰
総務局長	小松 淨慎	現代宗教研究所長	石川 浩徳
伝道部長	田端 義宏	参 与	堀江 宏正
教務部長	及川 周介	参 与	浅井 玄裕
総務部長	曲山 海弘	日蓮宗新聞社社長	西嶋 宏明

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五  
電話 〇三(三七五)七七八一  
FAX 〇三(三七五)七一八六

### 法華宗(本門流)宗務院

管 長	岡本 日亘
宗務総長	渡辺 俊岳
教学部長	佐々木 明乘
財務部長	佐藤 義賢
教化部長	高村 法顕
庶務部長	有田 秀達

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二-十九-一  
電話 〇三(五六一四)三〇五五代  
FAX 〇三(五六一四)三〇五六

### 顕本法華宗宗務院

管 長	中山 日暁	教務部長	大森 俊栄
宗務総長	中村 通義	布教部長	早川 義正
宗務次長	渡辺 昭夫	主 事	津村 乗信
社会部長	大塚 正純	主 事	多門 顕正
庶務部長	島田 幸晴	主 事	飯沢 道安
財務部長	藤崎 行学	主 事	小松 正学
		主 事	前田 成明

〒606-0015 京都市左京区岩倉幡枝町九一  
電話 〇七五(七九二)七一七一  
FAX 〇七五(七九二)七二六七

### 法華宗(陣門流)宗務院

管 長	鈴木 日艸
宗務総長	土屋 善敬
総務部長	佐古 弘文
教学部長	門谷 東生
財務部長	八木 恵岳
教化部長	佐古 大弦

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三五-一六  
電話 〇三(三九一八)七二九〇  
FAX 〇三(三五七六)〇二二一

### 本門佛立宗宗務本庁

講 有	野崎 日丞
講 尊	梶本 日裔
宗務総長	高尾 日音
宗務副総長	佐藤 日風
宗務副総長	藤本 博造

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東整町二-一〇番地  
電話 〇七五(四六一)一一六六代  
FAX 〇七五(四六四)五五九九

### 日蓮本宗宗務院

管 長	嘉儀 日有
宗務総長	野間 正明
総務部長	長崎 秀要
教学部長	岩崎 広義
財務部長	原 光明

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八  
電話 〇七五(七七二)三三九〇  
FAX 〇七五(七七二)五九一四

### 法華宗(真門流)宗務院

管 長	上川 日乾
宗務総長	斎藤 隆彦
総務部長	上田 浩岳
教学部長	辻本 寛孝
教化部長	水野 智啓
財務部長	堀野 智泰
社会部長	木村 完祥
主 事	本多 信正
主 事	足立 真正

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五辻上ル紋屋町三三〇  
電話 〇七五(四四一)五七六二  
FAX 〇七五(四四一)五六六六

### 本門法華宗宗務院

管 長	杉本 日慈
宗務総長	高邊 信幸
宗務部長	信隆 日系
財務部長	増田 隆雄
総務部長	藤井 宏長
庶務部長	土畑 信教
教化部長	音羽 隆全
門連常任理事	持地 光学

〒602-8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五  
電話 〇七五(四五二)三五二七  
FAX 〇七五(四五二)三五九七

### 宗教法人 国柱会

主 田 中暉丘	
理事長	古知 毅彦
門連常任理事	大橋 邦正
門連理事	石見 良教

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一-一九-一八  
電話 〇三(三五六)七二二一  
FAX 〇三(三五六)九九八〇  
<http://www.kokuchukai.or.jp>

### 京都日蓮聖人門下連合会

会 長	岡本 日亘
副会長	山田 一光
理事長	桃井 晋城
副理事長	杉若 恵隆

京門連事務局  
〒604-8091 京都市中京区寺町通御池下る  
本館 寺内  
電話 〇七五(二二二)五三三五  
FAX 〇七五(二二二)二八三八

### 日本山妙法寺大僧伽

主 座	塙 行幸
長 老	石山 定光
長 老	吉田 行典
長 老	酒井 天信
長 老	今井 行康
長 老	西堀 行施
長 老	二宮 和嘉
事務局長	森岡 秀雄

日本山妙法寺大僧伽事務局  
〒206-0812 東京都稲城市矢野口三五七-一番地  
電話 〇四二(三七八)三三九五  
FAX 〇四二(三七八)〇七四四





# 祝 慶 讚 750

平成十四年壬午

(平成14年4月現在)

<p>法華宗(陣門流)総本山 <b>本 成 寺</b></p> <p>〒955 0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇 電話 〇二五六(三三三)〇〇〇八</p> <p>貴首 鈴木日艸 執事 真保宣 執事 鈴木行 執事 栗田孝之 執事 高橋俊二 執事 下間要一</p>	<p>顕本法華宗総本山 <b>妙 満 寺</b></p> <p>〒606 0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一 電話 〇七五(七九二)七七一 FAX 〇七五(七九二)七二六七</p> <p>貴首 中山定信 執事 大川晃定 執事 小津乘信 執事 林松村 執事 前林孝学 執事 湯原法純 執事 補事 成瑞朋</p>	<p>日蓮宗大本山 <b>池 上 本 門 寺</b></p> <p>〒146 8576 東京都大田区池上一―一―一 電話 〇三(三七五)二二三三 FAX 〇三(三七五)三三五〇</p> <p>貴首 酒井日慈 執事 早水日秀 役員一同</p>	<p>日蓮宗総本山 <b>身 延 山 久 遠 寺</b></p> <p>〒409 2593 山梨県南巨摩郡身延町身延 電話 〇五五六(二二)一〇一一 FAX 〇五五六(二二)一〇九四</p> <p>法主 藤井日光 総務 井上瑞雄</p>
<p>本門佛立宗本山 <b>宥 清 寺</b></p> <p>〒606 8336 京都市上京区一桑通七本松西入滝ヶ鼻町一〇〇五一 電話 〇七五(四六三)四六二(〇代) FAX 〇七五(四六三)四六五一</p> <p>住職 野崎日丞 二十三世 有 執事 佐々木日調 事務局長 伊藤隆之</p>	<p>日蓮本宗本山 <b>要 法 寺</b></p> <p>〒606 8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八 電話 〇七五(七七二)三三九〇 FAX 〇七五(七七二)五九一四</p> <p>貴首 嘉儀日有 大学頭 丹治日遠 執事 野間正明 執事 岩崎広義 執事 原光明</p>	<p>本門法華宗大本山 <b>妙 寺</b></p> <p>〒602 8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五 電話 〇七五(四五二)三五二七 FAX 〇七五(四五二)三五九七</p> <p>貴首 杉本日慈 執事 飯田信栄 役員一同</p>	<p>法華宗(真門流)総本山 <b>本 隆 寺</b></p> <p>〒602 8447 京都市上京区智恵院通り五辻上ル紋屋町 電話 〇七五(四四二)五七六二 FAX 〇七五(四四二)五六六六</p> <p>貴首 上川日乾 執事 笹木研秀 執事 本多信正 執事 足立真城 執事 小島玄暉 参事 岩崎峻</p>
<p>日興上人御廟所 日蓮宗大本山 <b>富 士 山 重 須 本 門 寺</b></p> <p>〒418 0112 静岡県富士宮市北山四九六五 電話 〇五四四(五八)一〇〇四 FAX 〇五四四(五九)〇三〇三</p> <p>貴首 本間日諄 参事 井出教道 参事 井野親雄 参事 与井正文 執事 土橋興照</p>	<p>鎌倉開教七百五十年霊地 日蓮宗本山 比企谷 <b>妙 本 寺</b></p> <p>〒248 0007 鎌倉市大町一―一―一五一一 電話 〇四六七(二二)〇七七七 FAX 〇四六七(二五)六九六七</p> <p>貴首 加藤日暉 執事 大埜稔申 執事 立野正泰 山務役員一同</p>	<p>日蓮宗大本山 <b>妙 顕 寺</b></p> <p>〒602 0005 京都市上京区寺ノ内通堀川東入 電話 〇七五(四一四)〇八〇八 FAX 〇七五(四一四)〇八四八</p> <p>貴首 山田一光 執事 原光司</p>	<p>立教開宗之霊地 日蓮宗大本山 <b>清 澄 寺</b></p> <p>〒209 5505 千葉県安房郡天津小湊町清澄 電話 〇四七〇(九四)〇五二五 FAX 〇四七〇(九四)〇五二七</p> <p>別当 奥邨日鳳 執事 東孝信 執事 宮崎雅宣</p>
<p>日蓮宗本山 <b>頂 妙 寺</b></p> <p>〒606 8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六 電話 〇七五(七七二)〇五六二 FAX 〇七五(七七二)一〇〇四</p> <p>貴首 永田恵遠 参事 山田智清 執事 安藤信行 執事 藤井照源 執事 川部知雄</p>	<p>やくよけ祖師 日蓮宗本山 <b>堀之内妙法寺</b></p> <p>〒166 0013 東京都杉並区堀之内三一四八―一 電話 〇三(三三三)六二四一 FAX 〇三(三三三)五〇〇七</p> <p>山主 駒野日法</p>	<p>久遠成院日親上人御霊窟 日蓮宗本山 <b>本 法 寺</b></p> <p>〒602 0061 京都市上京区小川通寺ノ内上ル本法寺前町六七 電話 〇七五(四四二)七九九七 FAX 〇七五(四四二)七九九七</p> <p>貴首 大塚泰詮 執事 西本泰然</p> <p>重文涅槃図長谷川等伯筆 名勝巴の庭本阿弥光悦作 境内諸堂悉く京都府有形文化財指定</p>	<p>日蓮宗大本山 <b>法 華 経 寺</b></p> <p>〒272 0813 千葉県市川市中山二―一―一 電話 〇四七(三三四)三四三三</p> <p>貴首 長瀬日還 貴首代務 廣野日意 執事 渡辺貞観 参事 田代智清 同 喜多村敬雅 同 渡辺行俊</p>



# 門連時報

## 立教開宗七百五十年

### 京都日蓮聖人門下青年会

# 結成三十周年記念事業

- 京都日蓮聖人門下青年会は平成十四年結成三十周年を迎える。当会は平成十二年「750・30記念事業プロジェクトチーム」を発足させ、藤井照源実行委員長（日蓮宗）を中心に八項目の事業を策定し、計画を実行、本年の祥当を迎える。事業計画は、
- ①記念誌「京門青三十周年の歩み」の発行
  - ②七五〇報恩行脚（市中リレー十六本山踏破）
  - ③七五〇報恩と三十周年の集い
  - 平成十四年十二月十七日
  - （発会メモリアルデー）会場・京都全日空ホテル（法要・講演・祝賀会）
  - ④年間行事の積み重ね
  - ⑤身延山祖廟参拝（誓願法要）
  - 平成十三年九月三日実行
  - ⑥京門青のシンボルマークの作成
  - 平成十三年十二月策定
  - ⑦京門青の題目旗作成
  - ⑧団参・写経・インターネット・「門連だより」の活用
- 平成十四年の本年が日蓮聖人立教開宗七百五十年と京都日蓮聖人門下青年会結成三十周年の



身延山御廟所にて。誓願法要奉修。H 13.9.3

## シンボルマーク決定



### 日蓮門下青年会

私たち門下青年会はこの度結成30周年を記念し、更なる団結と発展を創造し、門下青年会のシンボルマークを定めました。これからは、門青の顔として御認知いただきたく存じます。

いよいよ輝かしい御正當聖年（平成十四年壬午）の幕開けです。顕本法華宗総本山妙満寺では、宗祖日蓮大聖人立教開宗七五〇年慶讃大法要を、来る四月二十七日より二十九日までの三日間厳修し、千載一遇ともいうべき大聖人の恩徳に感謝の誠を捧げます。本宗は、釈迦牟尼仏より日蓮聖人に受け継がれた正しい仏教の教えを、そのまま受け継いでいる「経巻相承、直受法水」の基本理念のもと、その御教えを流布すべく、門下総力を挙げて努力する新世紀弘通の聖年と致したく存じます。

昨年、米同時多発テロ事件や、アフガンでの戦争等、我が国で行きたい。願わくば、全国各地に門下青年会が誕生する事を願います」と語っている。実行委員会長の構成  
実行委員長―藤井照源（日蓮宗）  
実行副委員長―嘉儀吉裕（日蓮本宗）  
実行委員―奥山文章（日蓮宗）、



顕本法華宗管長 中山日暁  
総本山妙満寺貫首

## 顕本法華宗管長に就任して

の大願でもありました。私たち人間の本当の願いとは、一切衆生すべての人々が、救われる事でありませう。今、地球世界は大きな危機に直面しており、現代社会に於きましても、二十一世紀は「心の時代」と云われるように、心の問題が声高に提起されています。

に於きましても経済低迷の困難な時に直面した年でしたが、一方では、争いのない平和な世界の重要性が改めて認識された年でもありました。日蓮大聖人が立教開宗の際、心に誓われた「我れ日本の柱とならん」を始めとする三つの誓願は、仏陀釈尊の「一切衆生救済」

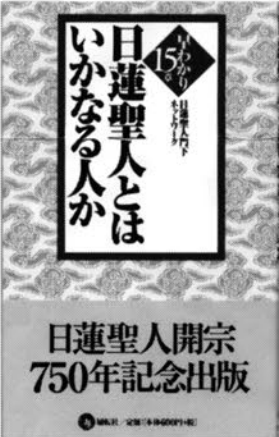
山本晃道（顕本法華宗）、川合陽雄（日蓮宗）、二之部知孝（日蓮宗）、阿南光節（本門法華宗）、梅本光祥（日蓮宗）、有田秀達（法華宗本門流）、真枝真光（法華宗真門流）  
この事業は平成十二年度から平成十四年度の三ヶ年計画で進め、事業予算は四百万円。

### 新刊紹介

## 日蓮聖人とはいかなる人か 早わかり15章

日蓮聖人門下ネットワーク編

立教開宗七五〇年という記念すべき年を迎え、その奉讃と日蓮聖人の教えや意義を広く世に訴えるため、コンバクトな「日蓮聖人入門」が刊行された。編集の「日蓮聖人門下ネットワーク」は有志の集り（2面参照）。内容は全十五章立てでわかりやすく便利な構成となっている。今までにないタイプであり是非一読をお薦めしたい。



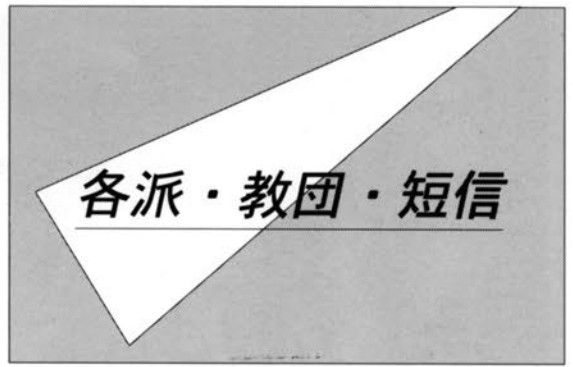
◆新書並製  
120頁  
定価630円  
発行・展転社  
全国書店で発売中。



# 立教開宗750年をお慶び申し上げます

## 株式会社 日蓮宗新聞社





頭本法華宗

8月25日、9月8日の15日間の日程で、総本山妙満寺において、妙塔大学林本科(一学年)・研修科(二学年)を開講。参加者十余名が本宗教師としての修行二道の修行を満了した。

11月17日、18日、頭本・陣門・真門による三宗派統合学院学生講座を、本宗当番により品川天妙国寺において開催した。講題は「開目鈔に学ぶ」、講師は本宗大学林長山本学人師。

僧員講習会が西部地区は11月9日、総本山妙満寺で、東部地区が11月19日、品川天妙国寺において開催された。東西各々若手教師による模擬講演形式で、パソコンなどを駆使した新しい講演手法の研究発表を行った。

2月18日、19日、千葉市のホテルサンガーデン千葉において、第57宗会が開催された。

法華宗真門流

立教開宗七五〇年記念結集大会が、各教区主催にて開催された。第一教区は平成13年9月16日、会場・大阪市「エルおおさか」にて開催、第二教区は6月3日、会場・福井県若原町、ホテル清風荘にて開催、第三教区は9月9日、会場・姫路市、市民文化会館にて開催、第四教区は4月28日、会場・小樽市、小樽国際ホテルにて開催。

第一、二、三種講習会開催。8月23日より29日まで、総本山本隆寺に於て四十余名が受講し、講義、法要式の実習が続けられた。北海道支学林が8月23日より30日まで開講された。

8月26日、総本山本隆寺にて寺宝、什物の虫払い会展覧法要を開催。10月12日、総本山本隆寺御会式奉修。13日、初転法輪奉修。

11月6日、貫首推戴会が開催され、総本山本隆寺住職、上川日乾師を推挙。尚、晋山式は、平成14年3月3日。12月6日、総本山本隆寺にて定期宗会が開催された。(堀内浩善)

法華宗陣門流

6月16日、17日に三宗統合協議会・統合学院学生講座が、巢鴨宗務院に於いて開催された。講師に法華宗(真門流)宗学研究員・宗務院監田中諦史先生をお迎えした。講題は「日真大和尚の祈禱経について」であった。

9月6日、7日、法華宗中央行学講習会が、大阪市津に於いて開催され、百三十人余りの出席者がつどった。第一日目第一講義に清澄寺別當・奥村日鳳師をお招きし、講題は「日蓮大聖人御題目始唱の血願」であった。第二講義は本宗宗学研究員所長・鈴木正徹先生で、演題は「寿量頭本の意義」であった。講習会二日目は本宗関西教区寺院、大阪・夕願寺・須磨・聖徳寺・中筋・妙玄寺の三ヶ寺を参詣した。

11月17日、18日に三宗統合協議会・統合学院学生講座が、頭本法華宗・天妙国寺に於いて開催された。講師に頭本法華宗・妙塔学林長山本学人先生をお迎えした。

2月3日新潟県三条市総本山本成寺に於いて、節分会追儺式が鈴木日輝下御導師のもと執り行われた。本山に於ける節分は、法要後に本堂で行われる鬼踊りが一つの名物となっており、踊りが行われる時間に特に参詣者が集中する。しかし、集中する参詣者に十分対応しきれない場合があり、設備の充実が求められてきた。本年は5月に控えた立教開宗七五〇年千部大

法要に向け、本堂に至る渡り廊下の全面改修事業と、多くの参詣者に対応する為の諸処の整備を終えたばかりで、多くの参詣者がより良くなった伽藍に喜ばれていた。(今井満良)

本門法華宗

大本山妙蓮寺では、4月13日・14日に立教開宗七五〇年慶讃大法要を奉修する。13日午後2時・第一座日蓮聖人五百遠忌大法要。午後4時・第二座写経納経法要。14日午前9時・第三座本堂再建発願祈念法要。正午稚児行列出発。午後1時・第四座立教開宗七五〇慶讃天童音楽大法要。以上の予定。

日蓮宗

秋の寺宝展」が去る9月14日より3日間、恒例の虫干しに伴い、開催された。宗祖日蓮大聖人御本尊・御消息他が一般公開された。

平成13年10月12日・13日大本山妙蓮寺では、日蓮大聖人御会式法要奉修。12日深夜法要には万燈会・奉納音楽。

同日12日大本山妙蓮寺御開山日像菩薩御報恩法要を奉修。日慶・日忠・日応聖人三師会並びに歴代聖人年忌法要併修。

本門法華宗学院では、第99回教区講習会を平成13年9月6日・7日に、第100回教区講習会を同11月26日・27日に大本山妙蓮寺卯木講堂にて開催。(木村光正)

法華宗本門流

平成13年9月29日法華宗が主催する、開宗七五〇記念大法要が東京国際フォーラムにおいて、参加者約二千名の結集と共に奉修された。法要は「僧俗一体」「報恩感謝」をスローガンに、第一部は宗祖御真筆二十八紙大曼荼羅(光長寺蔵)、鷲巢の宗祖御尊像(日法聖人作・鷲山寺蔵)出展の御前に

おいて慶讃大法要が奉修された。第二部は法華宗信徒の俳優・緒形拳氏による「信心相続」の語りとドキュメンタリービデオ「モンゴル・インド・ネパール仏の道を歩く」が上映された。大法要の翌日9月30日には、僧俗約三百人が清澄山旭が森に集まり「報恩感謝」

の唱題行が奉修された。平成13年10月31日法華宗宗務院教学において第十五回法華宗研究発表大会が開催され、基調講演「法華天台兩勝劣抄をめぐって(大平宏龍先生)」を含む七人の発表が行われた。最後に特別講演として田中俊介氏による「少年犯罪をめぐる諸問題」の講演が行われた。

平成13年12月10日法華宗宗務院仏殿において、原井前内局退任式が執り行われた。原井内局は、平成9年12月に発足し原井慈鳳宗務総長、圓成淳龍教化部長、桃井晋城教化部長、坂巻源導財務部長、矢吹慈英庶務部長の5名が職務につき、宗務院庁舎移転・開宗七五〇大法要をはじめとした数多くの事業を成就され、四年間の任期を満了された。引き続き同場所において、渡辺新内局就任式が行われた。新内局は、渡辺俊岳宗務総長(北海道・本因寺)、佐々木明義(北海道・本因寺)、佐々木明義(徳島・妙法寺)、佐藤義賢(財務部長(東京・信隆寺)、高村法顕(教化部長(今市・瑞光寺)、有田秀達(庶務部長(京都・恵賢院)が新たに任命された。

本門佛立宗

平成13年10月22日、法寿九二歳をもって、ご遷化された佛立第二十二世講有・井上日慶上人の宗葬儀が、去る2月22日、本山有清寺で講有日承上人の導師のもと厳修された。全国宗内外より一千名が会葬参列した。

宗務本庁弘通局では、平成13年度の全国寺院の弘通成績をまとめ発表された。報恩教化五人以上の成就者(三五七名)に対して、四月の本山有清寺・総修大法要で随喜状が授与される。

三回にわたる高祖立教開宗七五〇年慶讃総修大法要が、4月21、22日を皮切りに奉修される。全国から約四万人の参詣を目標に、総修本部では、教化親子、家族参詣を促進している。その他、8月4日には青少年総修大法要が奉修される。なお、平成8年より開始された「一人ひとり・七万五千人教化」も誓願達成に近づいている。(前島照力)

立教開宗七五〇年の正当を目前にして、明日を担う子供たちが日蓮聖人の心に触れるきっかけをつくり、信仰心を育むことを目的とした日蓮宗立教開宗七五〇年慶讃スカウトジャンボリー(日蓮宗宗務院・日蓮宗スカウト連絡協議会共催)が千葉県夷隅郡大多喜町・妙厳寺等を会場に八月十七日から十九日まで開かれた。小学生から大人までの日蓮宗スカウト・六団(目黒15団・大田17団・金沢12団・御殿場6団・市川8団・富士4団)総勢約二百八十人が参加。参加者は清澄寺でお経を唱えたりお題目を写経、旭が森で日蓮聖人のみ教えを心と体で感じた三日間を過ごした。

日蓮宗

一人ひとりが世界の平和を願い、国際協力への一歩を踏み出して欲しいと日蓮宗宗務院は、日本ユニセフ協会の後援で十一月二十八日、東京・新宿常圓寺で「アジアンフエスタ二〇〇一」メコンを渡る国際協力への道」を開いた。文化交流会・タイの舞踏家による民族舞踏・チャリティーバザーが行われ、新宿駅西口では、アフガン難民救援募金を行った。募金等を合計して、十八万三千三百円がユニセフを通してアフガン難民救援基金に送られる。(金子和正)

全国各地方連合局において、研修会、本化儀典研修会、婦人の集いを開催。毎月第三日曜日、妙宗大靈廟例月供養会厳修。毎月

17日、恩師田中智學先生報恩法要厳修。平成13年7月16日、宣正会慶讃法要厳修。28日、田中暉丘会長北海道連合局開局記念大会へ。30日、明治天皇祭厳修。

8月4日、申孝園ロータスウィラ納涼大会開催。6日、国柱会本部主催青少年夏期学校を長野県黒姫高原にて開催(8日まで)。11日、国柱会「青年の集い」を本部において開催。15日、田中会長以下、靖国神社参拝。26日、大白牛院謙宝日乘大居士第六回忌追善法要厳修。

国柱会

9月2日、婦人部主催・申孝園のつどいを本部で開催。9日、田中会長以下、日蓮聖人鎌倉辻説法霊蹟復興百年記念式典へ。式後慶讃の集いと小川泰堂居士墓参。12日、龍口法難会慶讃法要厳修。14日、申孝園ロータスウィラ開設二十周年記念式典。15日、申孝園ロータスウィラ合同慰霊祭厳修。田中会長、スリランカ大菩提会主催のダルマパラーラ生誕一三六六年記念式典へ。23日、妙宗大靈廟秋季彼岸大供養会厳修。

10月7日、講師補任用試験開催。10日、佐渡法難会慶讃法要厳修。12日、池上本門寺にて日蓮主義宣伝厳修。13日、聖祖鶴林会報恩法要厳修。20日、妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕開催。27日、第三十七回身延大祖廟輪番給仕開催(翌日まで)。

11月3日、田中会長以下、明治神宮参拝。4日、婦人部連華サークルを本部にて開催。11日、小松原法難会慶讃法要厳修。16日、恩師田中智學先生第六十三回忌御建夜法要厳修。17日、恩師田中智學先生第六十三回忌報恩大法要厳修。式後、報恩の集い開催。18日、全国定例協議員会開催。29日、岩間日勇下本葬へ、田中会長以下参列。

12月2日、皇太子殿下内親王御誕生にともなう奉祝の集いへ同志参加。8日、式士任用試験開催(翌日まで)。16日、憶年会開催。23日、天長節慶讃法要厳修。31日、福茶の会。送迎新法要厳修。(石見良教)

宗務本庁弘通局では、平成13年度の全国寺院の弘通成績をまとめ発表された。報恩教化五人以上の成就者(三五七名)に対して、四月の本山有清寺・総修大法要で随喜状が授与される。

17日、恩師田中智學先生報恩法要厳修。平成13年7月16日、宣正会慶讃法要厳修。28日、田中暉丘会長北海道連合局開局記念大会へ。30日、明治天皇祭厳修。

8月4日、申孝園ロータスウィラ納涼大会開催。6日、国柱会本部主催青少年夏期学校を長野県黒姫高原にて開催(8日まで)。11日、国柱会「青年の集い」を本部において開催。15日、田中会長以下、靖国神社参拝。26日、大白牛院謙宝日乘大居士第六回忌追善法要厳修。

日蓮聖人門下連合会

●目的  
本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を強化することを目的とする。

●事業  
本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。  
1、祖廟護持の組織強化  
2、教育事業の提携  
3、布教の連合強化  
4、懇談会・研究会・講演会等の開催  
5、各種出版物の刊行  
6、海外布教の提携及び交流  
7、対外的な各種の運動  
8、その他

●加盟団体  
日蓮宗 法華宗本門流  
頭本法華宗 法華宗陣門流  
本門佛立宗 日蓮本宗  
法華宗真門流 本門法華宗  
国柱会 日本山妙法寺  
京都門下連合会

9月2日、婦人部主催・申孝園のつどいを本部で開催。9日、田中会長以下、日蓮聖人鎌倉辻説法霊蹟復興百年記念式典へ。式後慶讃の集いと小川泰堂居士墓参。12日、龍口法難会慶讃法要厳修。14日、申孝園ロータスウィラ開設二十周年記念式典。15日、申孝園ロータスウィラ合同慰霊祭厳修。田中会長、スリランカ大菩提会主催のダルマパラーラ生誕一三六六年記念式典へ。23日、妙宗大靈廟秋季彼岸大供養会厳修。

るつうぶん

第二十五号をお届けします。門下各派各聖のご協力にこの場をお借りし深謝申し上げます。さて、いよいよ立教開宗七五〇年を迎えました。一面でご報告した通り記念事業として「大日蓮展」の開催が決定しました。紆余曲折ありましたが、この展覧会の開催により日蓮聖人との信仰が、広く一般の方々の目に触れていただく機会となれば、門下として喜ばしい限りです。一方、二面にありますように有志による「日蓮聖人門下ネットワーク」の設立もあります。メディアやインターネット、出版などの活用、全国十ブロックで講演会・街頭宣伝を行い、立教開宗の意義を広く宣流し、次代を担う門下の結集を計るといふ試みです。こちらも注目するところ大です。(隆)

宗務本庁弘通局では、平成13年度の全国寺院の弘通成績をまとめ発表された。報恩教化五人以上の成就者(三五七名)に対して、四月の本山有清寺・総修大法要で随喜状が授与される。

●目的  
本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、団結を強化することを目的とする。

●事業  
本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。  
1、祖廟護持の組織強化  
2、教育事業の提携  
3、布教の連合強化  
4、懇談会・研究会・講演会等の開催  
5、各種出版物の刊行  
6、海外布教の提携及び交流  
7、対外的な各種の運動  
8、その他

るつうぶん

第二十五号をお届けします。門下各派各聖のご協力にこの場をお借りし深謝申し上げます。さて、いよいよ立教開宗七五〇年を迎えました。一面でご報告した通り記念事業として「大日蓮展」の開催が決定しました。紆余曲折ありましたが、この展覧会の開催により日蓮聖人との信仰が、広く一般の方々の目に触れていただく機会となれば、門下として喜ばしい限りです。一方、二面にありますように有志による「日蓮聖人門下ネットワーク」の設立もあります。メディアやインターネット、出版などの活用、全国十ブロックで講演会・街頭宣伝を行い、立教開宗の意義を広く宣流し、次代を担う門下の結集を計るといふ試みです。こちらも注目するところ大です。(隆)

9月2日、婦人部主催・申孝園のつどいを本部で開催。9日、田中会長以下、日蓮聖人鎌倉辻説法霊蹟復興百年記念式典へ。式後慶讃の集いと小川泰堂居士墓参。12日、龍口法難会慶讃法要厳修。14日、申孝園ロータスウィラ開設二十周年記念式典。15日、申孝園ロータスウィラ合同慰霊祭厳修。田中会長、スリランカ大菩提会主催のダルマパラーラ生誕一三六六年記念式典へ。23日、妙宗大靈廟秋季彼岸大供養会厳修。

10月7日、講師補任用試験開催。10日、佐渡法難会慶讃法要厳修。12日、池上本門寺にて日蓮主義宣伝厳修。13日、聖祖鶴林会報恩法要厳修。20日、妙宗大靈廟各局輪番常勤給仕開催。27日、第三十七回身延大祖廟輪番給仕開催(翌日まで)。

るつうぶん

第二十五号をお届けします。門下各派各聖のご協力にこの場をお借りし深謝申し上げます。さて、いよいよ立教開宗七五〇年を迎えました。一面でご報告した通り記念事業として「大日蓮展」の開催が決定しました。紆余曲折ありましたが、この展覧会の開催により日蓮聖人との信仰が、広く一般の方々の目に触れていただく機会となれば、門下として喜ばしい限りです。一方、二面にありますように有志による「日蓮聖人門下ネットワーク」の設立もあります。メディアやインターネット、出版などの活用、全国十ブロックで講演会・街頭宣伝を行い、立教開宗の意義を広く宣流し、次代を担う門下の結集を計るといふ試みです。こちらも注目するところ大です。(隆)

宗務本庁弘通局では、平成13年度の全国寺院の弘通成績をまとめ発表された。報恩教化五人以上の成就者(三五七名)に対して、四月の本山有清寺・総修大法要で随喜状が授与される。